

## 2022年12月3日(土)14時より「大学ゼミ共同研究発表会」を行います！

(日中関係学会青年交流部会 2022年度第2回定例会)

皆さま、こんにちは！今年度の青年交流部会第2回定例会は、初めての試みとして、遠隔会議方式で「大学ゼミ共同研究発表会」を実施することになりました。今回は「新時代のビジネスのあり方」を統一論題とし、3つの分科会に分かれて行います。各チームより15分程度のプレゼンテーションをお願いし、休憩のあとに各チームの発表に対する質疑応答の時間を設けます。最後に、分科会ごとに得られた気づきを全体会で共有していくというスタイルで進めていきたいと思います。

3つの分科会のテーマは、以下の通りです（詳細はこの案内の2枚目をご覧ください）。

- 第1分科会：伝統的産業システムからの脱皮—その糸口を探る—
- 第2分科会：新しい社会規範の構想に求められる新技術のゆくえ
- 第3分科会：新時代の経営生産の現場から見た社会変革とイノベーションへの提案

プレゼンテーションを行わない方々も、質疑応答や全体会などに参加できますので、ご関心のある方は[入力フォーム（=本メール末尾）よりお申し込みください](#)。参加費は無料です。なお、今回は「新時代のビジネス」を取り上げましたが、今後は皆さまの希望されるさまざまなテーマで同様の研究発表会が開催できることを楽しみにしております。活発なご意見をお待ちしております。

●開催日時 2022年12月3日(土) 午後2時00分～5時00分

●開催場所 遠隔会議方式（zoom）

※申し込みのあった方に対し、参加URL等を開催数日前にメールでお知らせ申し上げます。

●参加資格（全体会ならびに分科会の聴講）

- ・日中関係学会の学生会員・個人会員・法人会員・海外会員
- ・学生（日中関係学会会員でなくても可）
- ・プレゼンテーションにエントリーしたゼミの指導教授と学生
- ・当イベントに関心のある有志の皆さま

●タイムテーブル（いずれも日本時間）

13:45～14:00 Zoomへの入場

14:00～14:10 開会、趣旨説明

14:15～16:25 3つの分科会での発表会・意見交換

16:30～17:00 全体会での振り返り、閉会

※終了後、希望する方は30分間のオンライン懇親会に参加できます。

※2枚目に続く

●第1分科会：伝統的産業システムからの脱皮—その糸口を探る—

伝統的製造業、アパレル業、水ビジネス、介護ビジネスの現状をめぐり、各チームの視点から、それぞれの領域における日本や中国などの新しい取り組みに着目し、今後必要とされる新しい発想としてどんな点が留意されるべきかを語り合います。(助言講師：楊川先生)

楊川ゼミ ①	中央大学	中国におけるアパレル産業の現状
劉永鵬ゼミ ①	東洋大学	日本における持続可能な水産業のあり方
郝燕書ゼミ ①	明治大学	日中企業における多能工について
高久保豊ゼミ① (チーム Furi)	日本大学	介護ビジネスエコシステム構想の再吟味 —日中の介護ロボットの開発と普及をめぐる検討—

●第2分科会：新しい社会規範の構想に求められる新技術のゆくえ

中国・日本をはじめ各国で取り組みが求められている環境問題やAI技術の進展に着眼し、技術・労働・社会など各チームが調べた分野における現段階の到達点を確認するとともに、そこにおけるボトルネックを探り、今後の方向性を提言します。(助言講師：劉永鵬先生)

楊川ゼミ ②	中央大学	日中自動車産業のカーボンニュートラル実施
劉永鵬ゼミ ②	東洋大学	日本の再生可能エネルギーの普及状況における課題と対策
郝燕書ゼミ ②	明治大学	日中企業における人材マネジメントとモチベーションについて
高久保豊ゼミ② (チーム PerTech)	日本大学	自動運転車の開発体制に関する一考察 —中国式から学ぶもの—

●第3分科会：新時代の経営生産の現場から見た社会変革とイノベーションへの提案

経営生産の現場に焦点を当て、ものづくりや作品制作における新時代のあり方を念頭におきながら、それぞれの領域で問題とされてきた事柄を掘り下げつつ、どのような社会変革とイノベーションが求められているのかを描き出し、その実現可能性を探ります。(助言講師：多田稔先生)

劉永鵬ゼミ ③	東洋大学	日米企業のコーポレートガバナンスと成長戦略 —富士フィルムとコダックの戦略評価—
郝燕書ゼミ ③	明治大学	日中企業における現場改善について
高久保豊ゼミ③ (チーム Unique)	日本大学	日中アニメ産業の課題解決の鍵は何か —中国との比較からアニメの未来を考える—

●参加申し込みの入力フォーム(※11月29日(火)締め切り)

こちらの Google Forms より申し込んでください <https://forms.gle/4ULojsXSfM9aLYfb8>

もしくは、高久保(takakubo.yutaka@nihon-u.ac.jp)までメールでその旨お申し込みください。

件 名：日中関係学会青年交流部会 2022 年度第 2 回定例会参加申し込み

登録内容：①お名前(漢字/読みがな)、②メールアドレス、③ご所属・肩書(または大学名・学年)、  
④参加したい分科会、⑤緊急連絡のさいの電話番号(任意)、⑥学会会員の方は「学生会員」「個人会員」「法人会員」「海外会員」の区分、それ以外の方は「学生」「一般」。

以上